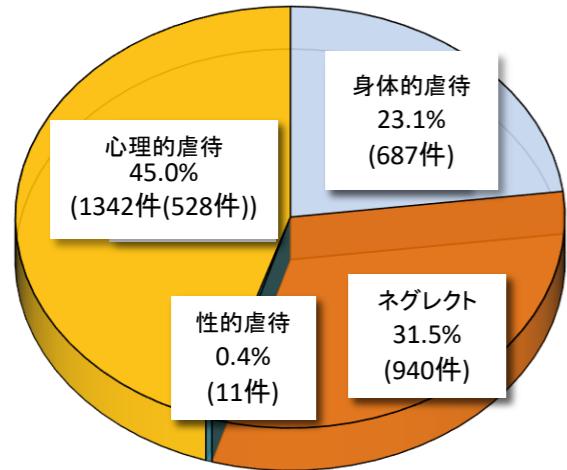


令和5年度 児童虐待相談の状況について（市町村）

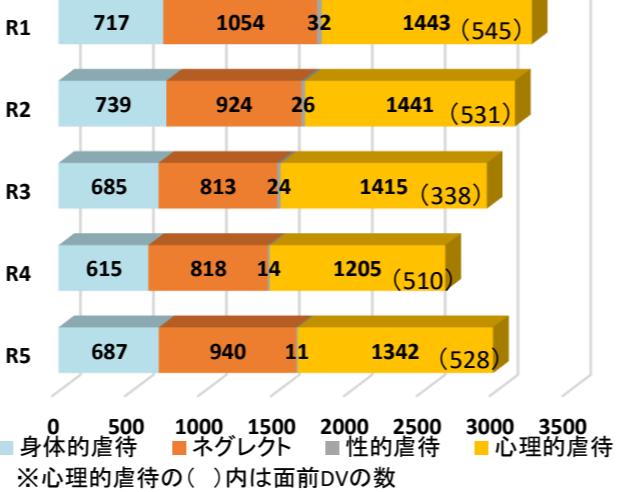
資料3

主たる虐待の種類

主たる虐待の種類別件数の内訳



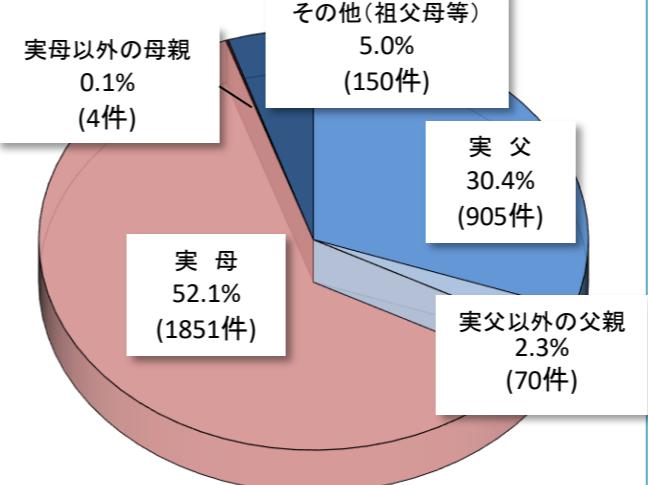
主たる虐待の種類別件数の推移



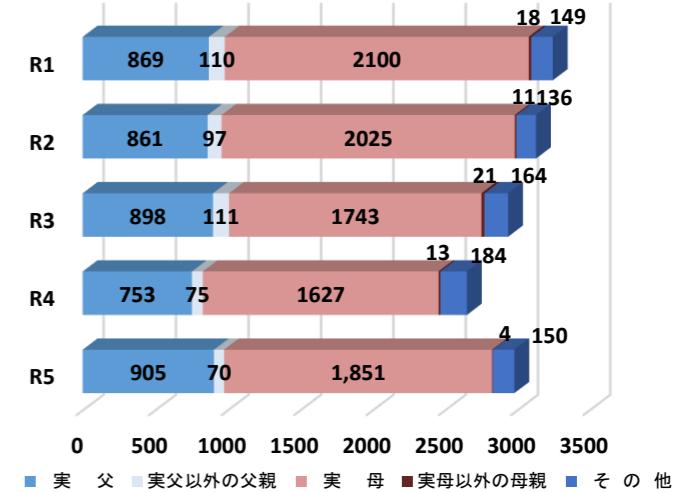
「心理的虐待」の件数が最も多い、次いで「ネグレクト」「身体的虐待」の順に多い。令和4年度と比較すると「心理的虐待」が137件増(11.4%増)、「ネグレクト」が122件増(14.9%増)、「身体的虐待」が72件増(11.7%増)、「性的虐待」が3件減(21.4%減)となった。「心理的虐待」が全体の約半数を占めており、その傾向は前年度と同様である。

主な虐待者

主な虐待者別件数の内訳



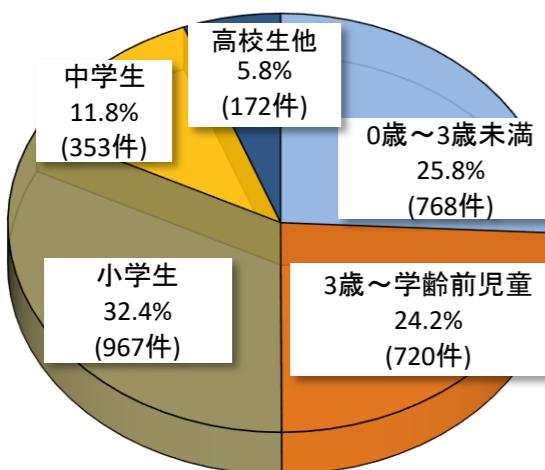
主な虐待者別件数の推移



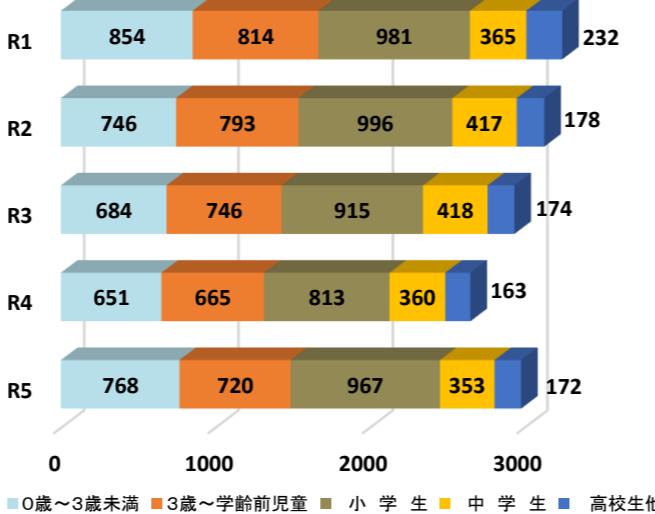
「実母」の件数が最も多い、「実父」と合わせた「実親」の件数が、全体の9割以上を占めている。前年度と比較すると、「実父」が152件増(20.2%増)、「実母」が224件増(13.8%増)となった一方、「その他(祖父母等)」が34件減(18.5%減)となった。傾向については、前年度とほぼ同様である。

被虐待児の年齢

被虐待児の年齢別件数の内訳



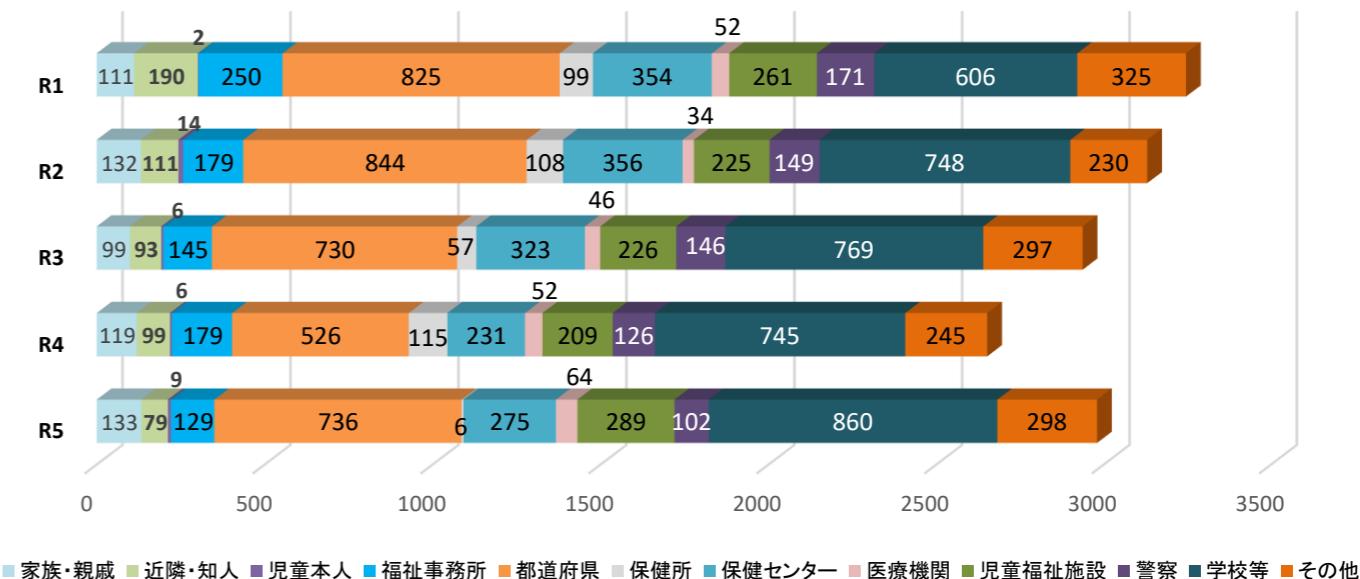
被虐待児の年齢別件数の推移



前年度と比較すると、「0歳～3歳未満」が117件増(18.0%増)、「3歳～学齢前児童」が55件増(8.3%増)、「小学生」が154件増(18.9%増)、「中学生」が7件減(1.9%減)、「高校生」が9件増(5.5%増)となった。傾向については、前年度とほぼ同様である。

虐待通告の経路

虐待通告の経路別件数の推移



「学校等」「都道府県」「児童福祉施設」の順に件数が多く、「都道府県」が210件増(39.9%増)、「児童福祉施設」(保育所、こども園等)が80件増(38.3%増)、学校等が115件増(15.4%増)となった。